



霍 芝



右賀茂山家ハ雨ノ寒
黄中水中小足踏入

ほしきほしきと毛抱く火桶子

松兄

田也畑巾山のあがりほしき

卓地

雪の園多水雨

水静かき花ハひらりとありあさ

立明

時鳥枯葉もてと鳴て来り 亭園

いづこも山み丸きまほしき 一之

こゝれみ早瀬の朝白く 伯先

尾花崎より過る山みかほしき年
娘の人の結糸よとむらり此上に
清坐して花清堂のつぎす急事梨

道もさして佛はうまのり 士調

生るもとすく小春信 松兄

田切川よ水がー増えぬ

小田植み舟をふらぬ 花叔

ほろも波もやほれし 山宰

青あし 菘木の上と起り 函蘭

此二句春雨言み舟聞あは

馬仇ヶ原

尾桐みさと

爰は松兄卓池の句ありきこゝに略き

若き人々、州の境の表れあるも一軒小
家を造りて、如き理と先み幸ひ又
ささるる理

疎ハせぬを根明く、みほれは
士朗
時多形ひく、雲ハ残るを己
巨柙

遠望山寺

庭掃ふ来以、くしと閑居自
阜池
閑居多自、みくも鳴る
松兒

弓矢を澤に、飯田よも一里余丁
かきあつて、まてむらむ出て

雲霧み垣、くしと閑居自
蕉雨
山路来て、見たるはあつく、美奈は
巢北
旅人と家とあ、まると閑居自
岳輪
麦より、やれもと柳春、戸下
李三
田植して、朝露潤、たる小家を
星巴

○右賀美抄、よきこと此日記に花叔、
兼平少少、
人み許より勉、
○崇北、
花よ、

○崇北、
花よ、

○岳輅上人、
尾張の田、

葉の月の光

世も、
おき、

春山、

嘗の、

か、

卯月九日、
八葉五人

四月十日

大久保は地不国中ありては新書とて
人も年より神一之經といふも巖子
はしと書付し

風城子時雨とよみし書付し 士朗

よみし

此も小人も年より神一之經とよみし 松兄

又

葉梅より書付し 壺伯

古きもの一之經とよみし

具原也何とよみし元と書付し 士朗

伏屋又残るゝ一之經四月 蕉雨

年矣いめて殘るゝ初小書付 岳輅

抱へておる七巻子緒 卓池

世に申され梅乃白ひと成小書付 松兄

伊予已しと春雨、降る。 壺伯

衣れとらふふそおもへる層 九 詰
 いまはるもを乙 姫み宮 朗
 笠み葉ふ若の帯跡 折をふひ 雨 輅
 雲よかきへる君、足跡 輅
 年の内に春ハ来よはる馬み上 巢 北
 夕名跡すせん福原みきと 兄
 白鴉の鼻はくやうに月おて 池
 去うは青く着るをり 秋 詰

古ひもほお捨るの露も庵 伯
 湖水のおもて出くをひをり 北
 五るを跡踏はすは朝候み 朗
 蛙つとあす一はくを 雨
 家良き薪み能よくすはて 輅
 母み機 嘆ゆる指は嬉しき 池
 篠み子もあちこちへ持せり 兄
 古乃み蚊のいよくと 伯

有明の東の雲は消へて
小萩ももふさふさ引る
這小亀は水は身はも苔のふ
定らぬ世はくもるこよ
野風吹くしとを泣かひ
袴のふしは身にも引る
大徳寺よそは西の町
ゆふふさふさふさふさ

詔 朗 雨 輅 兄 池 伯 詔

魚はあまの川の上は鳴る
水もくわんわんする
石はあまの川はくわんわん
櫛を袖はあまの川はく
あまの川はくわんわん
あまの川はくわんわん

詔 朗 雨 輅 兄 伯

飯田百負巻次

十日ありて又も一聲の響は
士朗

いしづきの松はあはゆる野山は
岳路

大空はものひらりありは
素舟

土山は雨子や越へんは
梅江

いしづきの月かゆきは
九鶴

いしづきの水白
蛙村

いしづきの
徐茂

翔白と松の月かゆきは
おもしろきものなり

初夏はほゆるは月や
川女

馬の子乃乃は
槎軍

田崎の橋より長き四月
凡室

柳も木もあはゆる
三

すまはるはに路の首出ず
丸詰

飯沼

宮城や馬より付りもあき奈を

松兄

宮城一八人の知事山を名する

宮城より来るはついでぬる奈山

壺伯

吹雪とふりて

宮の吹雪はついでぬる奈山

士朗

山より来るはついでぬる奈山

卓池

一の淵

一の淵の水鶴も鳴く四月は

花叔

燕が巢を築く山路の四月は

三都良

大平の山中

宮城の山はついでぬる奈山

士朗

と聞て国の人へおれを

おれとあつ後の山はついでぬる奈山

岳輅

夏知ぬる奈山のついでぬる奈山

蕉雨



霍芝集大尾

於八采賀之

采兆恭親



享和元年閏年四月

書林

尾陽名古屋

永樂屋東四郎

琵琶園社中撰集書目

尾張名古屋 東壁書房 永樂屋東四郎

雀芝集

此書を朱樹翁東方紀行の集をうと諸國にて増板せりといふ所ありぬる全五冊とす

春鶯囀

全一冊 梅藏人 天光著

全一冊

法華華經

全一冊 三日月集 白圖撰 少汝補

全一冊

麻苧

全一冊 秋風餘情 椿堂撰

全一冊

鳶乃眼

全一冊 人來鳥 青川撰

全一冊

むし合

全一冊 玉垣集 孔阜撰

全一冊

續赫夜姫

全一冊 草枕 素磔撰

全一冊

瓢日記

全一冊 松の炭 蕉雨撰

全一冊

橋日記 貞池撰

全一冊 庵の犬

野雀
五道
大燕

同輯

全二冊

とつとつ衣

也有老人述
狂文狂言多句とありむ

全三冊

同後編 同上

全三冊

狂歌蓬々嶋

三蔵樓夫人撰
春興狂詠

全二冊

狂歌願の絲

同上
七夕の狂歌踏入

全一冊

狂歌初日集

同右
狂詠角刀合の
高志を名しむ

全二冊

狂歌千歳集

同上
狂詠とありむ

全二冊

狂歌初心抄一冊

唐衣橋歩大人著
詠子の名はよき
多きをあつむ

狂歌才蔵集

四季とありむ
詠君の言を
あつむ

全二冊

俳諧歳時記

著作堂先生撰
全部二冊

同諸集訂誤

此は四季酒寄彩撰増注神事佛會
古事古歌ふらとく裁りて中甚洋

全一冊

同夏たのむり

也有翁著
全一冊

同諸集訂誤

布碩翁著

全一冊

志みのすろ物話

宿屋飯盛大人著
全部二冊出来

此書は當世に於て尤も
俗談のりち多て尤もあるとありむ

全一冊

秘學俳文稽文

此は文藝ハ字活拾遺物語の稽文より
秘學俳文稽文はもとけよん甚かりし
よき書を

後入とありむ

全一冊

